



同日、宮城県庁で、里見雅行JR東日本仙台支社長、村井嘉浩知事、奥山恵美子仙台市長が共同

JRグループ6社(JR北海道、JR東日本、JR東海、JR西日本、JR四国、JR九州)は9日、同社グループが自治体と協力して重点的に宣伝販売などを行う大型観光キャンペーン「JRデザインーションキャンペーン(DC)」を、2013年4〜6月に宮城県と仙台市を中心に行うと発表した。仙台・宮城でのDCは、08年以来5年ぶり。DCの開催で、東日本大震災からの復興、再生の姿の強力な発信を図り、観光による地域活性化を目指す。

JRグループ

13年4〜6月 東北再生を発信

仙台・宮城DCを開催

記者会見を行い発表した。同県内は復興途上の状況にあるが、DC開催を契機に、同県がこれまで取り組んできた「観光王国みやぎ」の実現をあらためて目指す。

会見で村井知事は「DC開催の決定は、観光復興の推進への弾みとなるだけでなく、県の産業全

DCの実施計画について村井知事は「家もないような状況のところにお客さまを呼び込むことは不可能なので、全体を見ながら計画を作っていくが、少し時間をいただきたい」としたものの、入り込み客数については、例年の1、2割アップを目指したいとの考えを示した。

市内の旅館・ホテル80

静岡県熱海市内の温泉旅館組合などで作る熱海温泉誘客キャンペーン実行委員会は11日から、東日本大震災の復興支援を盛り込んだ「熱海から届け みんなの気持ち」ハートメッセージプロジェクトを開始した。8月

カード

熱海温泉が復興支援

週刊



宿泊・旅行業・運輸・自治体(観光全般)

日本専門新聞協会加盟紙
国土交通省交通運輸記者会所属
発行所
東京都台東区池之端2-7-17
井門池之端ビル 〒110-0008
株式会社 観光経済新聞社
電話 03(3827)9800(代)
FAX 03(3827)9730

関西支社
大阪市北区天満2-1-20
天満松茂ビル 〒530-0043
電話 06(6354)6166・6290
FAX 06(6354)6292

北海道支局
札幌市東区北17条東15丁目
4の20の707 〒065-0017
電話 011(207)3777
FAX 050(3488)4375

東北支局
仙台市青葉区本町1-12-7
本町プラザビル8F 〒980-0014
電話 022(225)8390
FAX 022(225)0850

九州支局
福岡市博多区博多駅前4-4-21
グリーンビル3F 〒812-0011
電話 092(477)5711
FAX 092(471)0778

購読料年間一部8,400円
(うち消費税 400円)
郵送料 2,600円
振替口座 00140-2-86888番
Email info@kankokeizai.com

ホテルの 資金計画を しっかり サポート

申込書とクーポン券を事前にFAX

青森DCが現在開催中のほか、12年4〜6月に岩手DCが開催される予定。仙台・宮城DC後の13年10〜12月に秋田DCが開催されることも、9日発表された。各DCの



飲食店などに日本酒やワインなどの料飲勉強会の開催、コンサルティンクを行う日本飲料ビジネス研究会(友田晶子会長)は、ホテル・旅館向けの料飲勉強会開催を積極的に働き掛けている。ソムリエ、利き酒師、各酒類アドバイザーが直接、ワークショップ形式の講座を実施。旅館組合などの団体向けとホテル・旅館1社のみを個別向けに対応できるコースを設けている。

「酒類を中心とした料飲部門の売り上げアップが目的」と同研究会。現

状のホテル・旅館の料飲サービスは、「料理に合った酒の提案ができていない」と指摘する。勉強会を通じて、そういった問題点を分かりやすく解

説する。



友田会長

るホスピタリティコミュニケーションが、より具体的な販売促進と広告宣伝を提案する。

2006年設立の同研究会は、レストランなど

団体向けの講座内容は、①日本酒、焼酎、ワインなどの基礎知識②季節のプロモーション、売れるメニューの書き方、注目の取れるセールスプロモーション③料理と酒の基本相性、地域オリジナルの相性——など。個別向けは、悩みごとの相談を受けてから、その解決のための提案と勉強会をプログラムし、季節ごとの酒の提案やスタッフ教育に至るまで全面的にバックアップする。マークETING活動については、協力会社であ

に加え、福井県観光連盟や福島県岳温泉組合といった団体から個別の温泉旅館での開催実績がある。勉強会には同研究会会長の友田氏が直接、指導に当たる。

料飲に関するコンサルタントとして活躍する友田氏は、1997年に

「ワインアドバイザー全国選手権大会」で、女性最高位の3位に入賞。酒に関する著書も多数ある。

この件についての問い合わせ先は、日本料飲ビ

ジネス研究会(☎03・3536・6319)。

料飲勉強会

日本料飲ビジネス研究会

ソムリエらが直接指導